



大人5人がゆったりと座れる大きなダイニングテーブル。当初は予定したキッチンの壁を、LDKの開放感のため設計変更。



澤石さんが自作したミニチュアの楽器類。粘土を使用し、細かな部分までしっかりと再現されている。LDKの飾り棚に置かれている。



奥さまの希望で設置された畳スペース。横になってリラックスできる。座った時には、LDKにいる人とのしゃやしい高さになっている。



短距離に設計されている。実際に

LDKは大人5人が集まってもゆったりと過ごせる広さを確保した。梁がむき出しになった折上げ天井が、高さ方向の開放感も生み出している。澤石さんの考えたコンセプトは「自由に動けること」と「家事労働の動線が便利なこと」。

LDKにソファは置かず、キッチンには動きやすい回遊式とした。洗濯機置き場から物干し場までも最短距離に設計されている。実際に

「持た」 ち家に対する憧れはなかった。設計事務所建築士として勤務する澤石さんの第一声は、意外な一言だった。長年借りていた家の集合住宅への建て替えがきっかけ。しかし、そこで家を建てる決意をしたわけではない。借家を探した。続いて中古住宅の購入にまで範囲を広げた。そうしているうちにめぐり会ったのが、春日部郊外の土地。周囲に田園風景が広がっていた。その立地に惹かれた。



暮らしやすさが最優先

キッチンの近くに置かれた本棚。表紙の見える置き方ができ、見せる収納になっている。デコレーションは奥さまの手によるものだ。

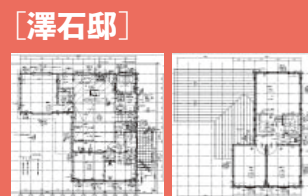


音楽好きの血を引いているのがわかる息子さんの部屋。丈志さんが青春時代に買ったアナログLPのジャケットを息子さんが壁にレイアウトした。

働く奥さまが使いやすい家であり、家族が暮らしやすい家である。玄関のアーチや物干し場などは、家の完成後に夫妻が共同作業でつくったという。実は2人とも趣味はDIY。家の中を見回してみれば、お手製の作品がいくつも見受けられる。現在はウッドデッキの設置を思案中。「建築家、家を建てる」は、今なお進行中なのである。



扉を開けるとジャングルの風景が広がる遊び心あふれるトイレ。中に置かれた小物もジャングル仕様。音による演出も考え中だ。



澤石邸

House DATA

建築費用：●●●●万円	2F：●●m(●●坪)
構造：(木造2階建て等)	建ぺい率：●●%
敷地面積：●●m(●●坪)	容積率：●●%
延床面積：●●m(●●坪)	完成年月：2020年●月
1F：●●m(●●坪)	家族構成：大人5人

構造計算が専門の澤石さん。自宅も構造計算し、耐震等級3をクリア。プロの目で実例を見ても信頼を置ける無垢・自然素材の家を得意とする「ライクスホーム」に施工を依頼した。



ライクスホーム ☎0120-914-017 <https://likes-h.net/>

家のプロ、大満足の家を建てる

家づくりのプロ、建築士が家を建てたらどうなるか。澤石丈志・里香夫妻の家は、そのこたえを我々に教えてくれる。郊外の住宅街に溶け込む家の中には、プロの考えたアイデアがぎゅっしり詰まっていた。

写真／熊谷義久 文／谷口尚

埼玉県春日部市 澤石邸

2階にある澤石さんの個室。若いころから続けているギターやお気に入りのコミックなどが並んでいる。この部屋に入れば、自分の世界に没入できる。

